

【平泉商工会】経営発達支援事業 評価シート

資料No. 1

≪評価基準≫

A：目標を達成することができた（１００％以上）

B：目標を概ね達成することができた（８０～９９％）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった（３０％～７９％）

D：目標をほとんど達成することができなかった（３０％未満）

I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	目標	R7実績	今年度実績	評価	
					事務局	委員会
1. 地域の経済動向調査に関すること	(1) RESASの活用	1回	1回	平泉町への宿泊者情報（国内・国外）データをＨＰに掲載し、更に経営計画作成支援に活用した。	A	
	(2) 岩手県中小企業景況調査	4回	4回	岩手県商工会連合会提供の情報を４半期に１度ＨＰに公表し、更に経営計画作成支援に活用した。	A	
	(3) 平泉町観光客入込数データの活用	4回	4回	入込数データを平泉町から情報提供いただきＨＰに４回掲載し、更に経営計画作成支援に活用した。	A	
2. 需要動向調査に関すること	(1) 観光動向調査結果の分析	20者	0者	（一社）世界遺産平泉・一関ＤＭＯの観光動向調査を利用の予定だったが、今年度は調査を実施しておらず分析ができなかった。	D	
	(2) 観光エージェントニーズ調査	15者	0者	平泉観光推進実行委員会が参加した商談会の情報提供は受けたが、分析までには至らなかった。	D	
	(3) 新商品開発の調査対象	2者	0者	対象事業者が出店することが出来ず、調査できなかった。	D	
3. 経営状況の分析に関すること	(1) 個別相談の実施	3回	21回	エキスパート事業等による専門家１１回。広域指導員を活用した個別相談１０回。	A	
	(2) 経営分析事業者数	40者	61者	事業計画策定支援３２者、ＭＡ１記帳利用者２９者の経営分析を実施した。	A	
4. 事業計画策定支援に関すること	(1) 事業計画策定件数	20件	52件	事業再構築補助金2、ものづくり補助金1、事業継続力強化計画1、持続化補助金3、事業承継10、マル経9、経営革新6、県補助金10、町補助金10	A	
	①事業計画策定個別相談会	3回	5回	金融個別相談会２回（７月、１２月）、出張経営よろず相談会３回を活用して個別に経営課題に対する事業計画策定について指導した。	A	
	②ＤＸスキルアップセミナー	2回	2回	クラウドサービスを活用した経理システムの体験セミナーに参加し、経理業務に関する基礎スキルの向上を図った。また、岩手よろず支援拠点のＩＴコーディネーターから、販売戦略を明確化するためのＨＰ活用方法について指導を受けた。	A	
	③創業セミナー	4回	4回	ひらいずみ創業塾の開催（４日間）参加者１４名（延べ４３名）で実施した。	A	
	(2) 創業・第二創業計画策定事業者数	2者	6者	創業相談のあった６者に対し創業事業計画の策定。町起業・事業承継支援補助金、町空き店舗活用補助金、町リフォーム補助金の活用を支援した。	A	
	(3) 事業承継計画策定事業者数	2者	20者	事業引継支援センター等と連携し20者（飲食業7、小売業6、製造業3、サービス・宿泊・運送・建設各1）を支援した。	A	

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	(1) 事業計画策定事業者					
	①フォローアップ対象事業者数	20者	32者	事業計画策定した32者を対象にフォローアップを実施した。	A	
	②フォローアップ頻度（延回数）	120回	131回	進捗状況を確認しながら、フォローを実施した（1者あたり平均4回）。	A	
	③売上増加事業者又は営業利益率1%以上増加事業者	5者	13者	決算期で把握：事業計画策定事業者37社のうち、13者の売上増加が図られた。	A	
	(2) 創業・第二創業計画策定事業者					
	①フォローアップ対象事業者数	2者	6者	創業計画策定事業者を対象にフォローアップを実施。	A	
	②フォローアップ頻度（延回数）	12回	38回	進捗状況を確認しながら、随時フォローを実施した（1者あたり平均6回）。	A	
	(3) 事業承継計画策定事業					
	①フォローアップ対象事業者数	2者	20者	事業承継計画策定事業者を対象にフォローアップを実施。	A	
	②フォローアップ頻度（延回数）	8回	40回	半年に1回を基準に実施。うち2者に対しては、事業承継計画書の作成に取り組み、中小企業基盤整備機構東北本部の中小企業アドバイザーによるチェックを受けたうえで、事業者と内容を共有した	A	
6. 新たな需要に寄与する事業に関すること	(1) 商工会主催の小規模相談会・商談会	2者	0者	想定していたバイヤーを招聘しての小規模商談会の開催にいたらなかった。	D	
	(2) “ うち成約件数/者	1件	0者	“	D	
	(3) 町内各種イベントへの出店支援	2者	2者	町内の3つのイベント2者が出店した。	A	
	(4) “ うち売上額/者	3万	3万	町内外の来場に対して商品PRを実施した。	A	
	(5) 個別店舗指導	4者	8者	魅力あふれる商店事業として8者（小売業3、飲食業3、菓子製造小売1、サービス業1）でPOP出前講座を実施した。	A	
	(6) 売上増加事業者又は営業利益率1%以上増加事業者	2者	4者	決算期で把握：個別店舗指導事業者8社のうち、4者の売上増加が図られた。	A	
	(7) ITツール導入支援事業者	2者	20者	クラウド型記帳システム導入支援2者。キャッシュレス決済導入支援18者。	A	
	(8) ITツール導入事業者	1者	20者	ITツール導入支援事業者が全て、ITツールを導入した。	A	

Ⅱ 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	目標	R7実績	今年度実績	評価	
					事務局	委員会
1. 地域の経済動向調査に関すること	(1) 事務局会議の開催	4回	12回	毎月の職員会議において地域の経済動向等について情報共有を図った。	A	
	(2) 事業評価委員会での評価並びに検証	3回	0回	開催できなかった。	D	
	(3) 事業評価の報告・HP公表	1回	1回	評価結果を平泉商工会ホームページに掲載した。	A	
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	(1) 外部講習会等の積極的活用	1回	8回	岩手県商工会連合会が開催する専門コース研修（5回）への参加と岩手県が開催したDXセミナー（3回）に参加し、専門的知識の習得に努めた。	A	
	(2) 専門家支援への同席・同行による支援ノウハウの習得	6回	9回	販路開拓に向けた効果的な手法や経営計画策定、業務改善助成金、IT化の推進のポイントなどについて、専門家に常同し、そのノウハウを学びスキルアップに繋げている。	A	
	(3) 経営指導員と経営支援員の同伴支援によるOJTの実施	10回	10回	MA1財務諸表を活用した経営指導や、経営課題の聞き取りの手法や課題解決の提案法について同伴し指導した。	A	
	(4) 職員会議の開催による支援ノウハウの共有	12回	12回	毎月の職員会議において支援事業所の情報共有と、支援内容を全職員で情報共有した。	A	
	(5) データベース化による情報共有と活用	随時	随時	クラウド型経営支援ツール「商エイントラ」の「相談指導カルテ」や「財務諸表データ」を入力し、経営データの蓄積と情報の共有化に努めた。	A	

Ⅲ 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	目標	R7実績	今年度実績	評価	
					事務局	委員会
1. 地域経済の活性化に資する取組に関すること	(1) 中尊寺通りホコ天まつり事業開催	1回	1回	10回目を迎えたホコ天まつりを10月上旬に開催した。13者が出店し、中尊寺通りの賑わいを創出することができた。	A	
	(2) 平泉観光推進実行委員会への参画	10回	8回	平泉観光推進実行委員会に参画し、年間を通じて8回（総会1回、幹事会3回、部会4回）出席した。	B	
	(3) 世界遺産連携推進実行委員会への参画	4回	4回	世界遺産連携推進実行委員会に参画し、年間を通じて4回（総会1回、幹事会3回）出席した。	A	
	(4) ひらいずみ産業まつり実行委員会への参画	4回	5回	ひらいずみ産業まつり実行委員会に参画し、年間を通じて5回（実行委員会2回、専門部会3回）出席した。	A	